

料金後納
郵便

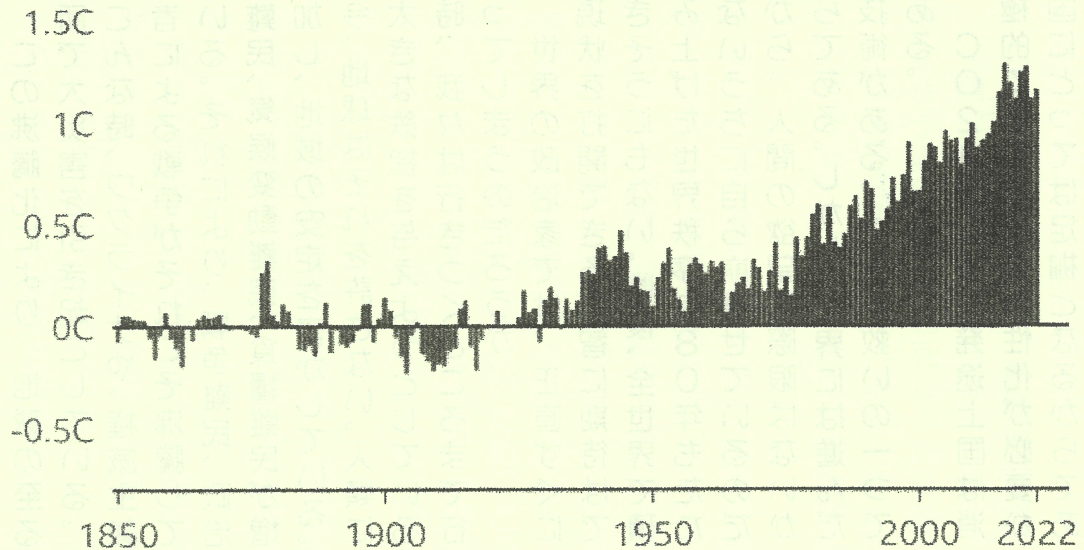
やまもり通信

ゆうメール

NO. 245 2023.9 NPO法人恵那山みどりの会

地球温暖化は進んでいる

世界の年平均気温の変化を
産業革命以前(1850~1900年)の水準と比較



注:平均気温は英気象庁、米海洋大気庁、欧州中期気象予報センター
日本気象庁および米パークレー・アースの各データから算出

出典:英気象庁

BBC

2027年には地球の平均気温が1.5度上がると警告しています

木の伐採体験会フォローアップ講座 9/17(日) 於:福岡檜林

第4回木の伐採体験会 10/29(日) 於:福岡檜林

お願い: 会費未納の方は早急に納入をお願いします。!!

ホームページ

恵那山みどりの会

検索



地球は沸騰している?!

河内龍二

この夏は本当に毎日暑い日が続く。テレビでは毎日のように真夏日の情報を流す。我が家でも今年も私も少し年を取ったことと、我が家の老犬が夏バテ状態になり、エアコンを頻繁に使うようになってきた。地球温暖化を口にしながら、電気というエネルギーを消費せざるを得ない現実には矛盾を感じる。

でも矛盾はどこにでもある。かの韓非子は上手く言ったものである。正義という言葉も多くの矛盾を含んでいる。ある人、ある国での正義という概念は他方の勢力では全く別物になる。エネルギーもしかり。

言うまでもなく、地球の温室効果ガスが増加し、我々が直面する温暖化が加速している。国連のグテーレス事務総長は、地球は温暖化から沸騰化していると警鐘を鳴

らしている。

この沸騰化により、地球の至る所で大災害を引き起こしている。こんな時、ウクライナや、権威主義者による戦争がそれこそ沸騰している。それにより、戦争難民、政治難民、気候変動難民、食糧難民が増加し、地域の安定を脅かしている。今、地球はそれを許さない。人類に大きな鉄槌を与えようとしている時、我々は行きつくところまで行ってしまおうのだろうか。

世界の政治家では、正直すぐに現状を打開できる叡智に期待はできそうにもない。戦後、全世界で積み上げた世界秩序を80年もたたないうちに自ら崩壊させているのだから。人間の欲望に際限はないからである。しかし、世界には進んだ技術がある。これが救いの一つである。

CO2削減には開発途上国は消極的である。経済活性化が必要か国にとっては足枷となるからである。経済の活性化と温暖化防止と

いう矛盾である。先進国にとってもコロナ後の経済、ウクライナ戦争の影響は経済にとって深刻な問題である。

しかし、技術の開発により、その矛盾は解決できる可能性を秘めている。今や政治家に代わり科学者の出番である。それには地球レベルでこのCO2削減もしくは吸収し、新たな活用方法を見つめる研究に各国が資金を提供し早急に実現する必要がある。すでに一部では実現化にこぎつける技術が報道されている。地球レベルのプロシエクトで開発を促進する必要がある。

有名なマエストロのレナードバースタインはそのスピーチでは「国」という名詞は使わず、「アース・地球」と常に言っており、平和への執念を滲ませている。技術開発には世界平和が大前提である。

地球は人類の次の一歩にその矛盾を収めるか否かを見極めている。

森づくりだより

上金新田 庭木伐倒

六月七日(水) 三名

しばらく空き家となっていた庭の、コウヤマキほか枯れ木を含め八本ほどの伐倒、枝払い、玉切り処理作業である。太さとしては、根回りで二十五cm程であり、伐倒作業としては手ごろであった。

当日は梅雨の晴れ間で気温も高くなり、作業開始間もなく汗が噴き出て最後の一本を残し、水分補給のための休憩と相成った。

しっかり水分を補給後、最後の一本を伐倒処理し依頼者の了解を得て作業を完了した。

その後、依頼者とともに別の現場を確認したが、重機を用いたほうが良いためその旨伝え分かれて、駒場の現場確認へ移動した。ここも家の庭先のような場所、かなり太いならではあるが条件は悪くないので検討することとした。

安全に作業するための勉強会

七月三十日(日) 七名 事務所会議室

猛暑日かと思われる日曜日の午後、熱中症予防のため冷房をしっかりと効かせた事務所会議室にて、「自分の安全は自分で守る」ことを主題に勉強会を行った。

前半を「労働安全衛生法」「労働安全衛生規則」等法令関係の学習から入り、「林業・木材製造業労働災害防止協会」(以下林災防)でまとめられている災害事例で、災害の原因、対策を学び、このような災害を起こさないためにどうするかという観点から「林災防」の資料を基に「リスクアセスメント」について学んだ。

次に「厚生労働省」「環境省」「林災防」の資料を基に「熱中症」の予防、対策を学んだ。

最後に「林災防」の資料により蜂刺され災害の防止について学習したが、主催者が勉強不足で慣れていないこともあり、通り一遍の勉強会になったことは反省すべき点である。

いつもご支援ありがとうございます。

やまもり通信令和4年9月号以降の寄付者をお知らせします。(敬称略)

令和4年度

長瀬逸子(福岡) 市岡則子(福岡) 加地誠司() NPO法人ひなたぼっこ(蛭川) 長谷川いさ子(中津川) 日下部 摂子(手賀野)

令和5年度

堀幸枝(駒場) 大橋宗明(蛭川) 小池公夫(千旦林) 梶田美知子(千旦林) 大3 竹和博(中津川) NPO法人ひなたぼっこ(蛭川) 広和木材(株)(千旦林) 工藤昌樹(柳町) 長谷川いさ子(中津川) 田口由美子(加子母) 林千洋(千旦林) 安藤和代(小川町) 加藤康(坂下) 金井輝子(駒場) 伊藤志保子(中津川) 庄司由美(馬籠) 鈴木弘文(苗木) 村瀬則夫(名古屋市) 高垣洋子(土岐市) 高橋良夫(中一色町) 以下次号にて掲載

今後ともよろしく願います

【定例作業日誌】

森林資源活用部 伊藤 守

六月二十七日 (火) 曇り 六人

チップパー作業 雑木林窯

七月十一日 (火) 晴れ 五人

草刈り 福岡薪置き場

七月二十五日 (火) 晴れ 五人

炭窯より炭だし 雑木林窯

六月十九〜二十三日、雑木林窯で三度目の炭焼きを行いました。出来は、先回と同じぐらいの品質です。収量は5kg×三八箱でした。炭の在庫が溜まってきました。皆さん在庫減らしにご協力お願いします。

夏休み自由研究

「マダニの生態」



連れ合いが再度マダニに吸血された。先回は腕に、今回は腹部臍の近くだった。連れ合いの日常は、散歩や庭・畑の草取りと、活動範囲は広くない。なぜ二回もマダニの洗礼を受けたのか、マダニの生態を調べて見ま

した。

マダニ類は、吸血性で、主として哺乳類・鳥類・は虫類に外部寄生し、四七種が分布する。大きさは二〜三mm、吸血後の体長は一〇倍近く膨れ二〇mmにも達する。卵から孵化し、幼虫・若虫・成虫となり、それぞれの段階で吸血する。三度も吸血するとは。

吸血する度に寄生動物から離脱し幼虫・若虫は光を避け石の下や葉陰に潜み脱皮後、次の宿主を探す。吸血後の雌成虫は、地上に落下し落ち葉・岩の割れ目などに産卵し死亡する。雄成虫は吸血せずすぐに死亡する。吸血期間は、種によって違いがあるが幼虫で三〜六日間、若虫では三〜一〇日間、雌成虫で六〜一二日間です。

待機中のマダニに接触すると肌の露出部や衣服に乗り移り吸血に適した場所を求めて徘徊する。刺咬する場所に種の好みがあり顔面(特に眼)、頭部や陰部・肛門など下半身の湿部を刺咬する傾向が見られる。

マダニ類は、余り移動しない。若虫

では二〜三齢、幼虫で一齢程度しか移動しない。山林の下草や地表に生息し、じつと宿主となる動物を待つ。マダニ類の第一脚には、宿主から発する二酸化炭素・アンモニア・硫化水素等臭気物質に反応する器官を持ち宿主を感知すると獲物に向かって直進する。

マダニ類は、吸血しなくても長期間生存でき、低温にも強く冬季でも活動する。生活環は、気候や宿主によって決まるが数年を要する。なかなか厄介な生き物です。

吸血されると、細菌・ウイルスによるマダニ類媒介感染症(重症熱性血小板症候群・日本紅斑熱等)に感染するおそれがあります。

吸血を防ぐ対策は、肌を露出しない。防虫剤の散布。屋内に持ち込ませない、シャワーや入浴で体の点検。吸血されたら医者を受診取ってもらう。マダニには気を付けましょう!

参考文献

「マダニ対策」国立感染症研究所
「マダニの話」技報堂

《シリーズ》

薪ストーブ考 将来導入を考え
ている人へ！【Ⅱ】

柴田 弘明

*薪ストーブで日々の負担増加

毎年冬になる前に一年分（一冬）の薪材を確保しなければならぬ。持ち山があるか雑木が容易に手に入られなければ購入することになる。新しい薪は燃えが悪いし、煙も多く、煙突の煤がたまりやすい。

2, 3年前に作った薪で、一冬に4, 5立米が必要となる。購入すれば6, 7万円はかかる。自分の山から生産する場合は、山から伐り出し、短く切断し冬場の仕事として細かく割って棚積み乾燥をすることになる。毎年の冬場の仕事となるので大変である。

当然ながら、暖房として使う冬期間は毎月の仕事として、ストーブのある所まで一月分の薪運びのほか、翌日の灰の処理やストーブ周辺の清掃が必要になる。更に一

番の心配事は電気機器のようにスイッチを切れば消化できる仕組みではないので、地震等の場合に、瞬時に消化できないのが悩みである。ただ近年は行政も薪ストーブの支援策をとるようになっており、ストーブ等の安全な製品づくりの改良が進んでいるので、導入を考えている人は専門店に相談されることをお勧めします。

*良い面も多くあり推薦します。

真っ赤に燃える炎を焚口のガラ又越しに見ていると、心が和むし、飽きることがない。ストーブの様も様々あるので、好みに応じて導入すればよい。

上部が天盤になっているので、湯沸かしや煮物づくりはもとより、焼き芋好きなら毎日でも可能。なかにはピザやパン作りができるものもある。我が家では就寝用のこたつ代わりにやかんの湯を使って湯たんぽを利用してはいるが、部屋を乾燥させないので喉を傷めず有

難い。

炭を活用する場合はオキをとって炭壺に入れば良質な炭づくりができるので再利用も可能である。就寝前に2, 3本の薪を入れておけば朝方まで暖をとれる。2階部屋は利用する時だけ小窓を開ければ暖流ができるのでエアコンを使わなくてもよい。

薪ストーブを使っている一番の利点といえば洗濯物の乾燥である。寝る前に洗濯物をハンガーに掛けておけば朝には乾いているので、そのまま使用できて替え着はいらない等々良いことづくめでもある。薪ストーブの利用によってどれだけの二酸化炭素の削減につながるか正確にはわからないが、エアコンを使わず湯沸かしや煮物づくりで電気やガスの使用を削減している分は確実に貢献していると思いたい。

設置については出来るだけ新築やりフォーム時に導入すればコストも下げられる。

(完)

～^{ねが}希望をともに～

恵那山みどりの会は
緑豊かな里山づくりをめざし
木の間伐をする、その利用として
炭焼やしいたけの原木をつくります
種拾いや植樹をします

未来を担う子どもたちのために
森の学校は「ほーほー」を開きます
自然をとりもどしたいという人々の願いは
強まっています

経済優先の社会と別れ
自然とともに生きる豊かな社会
を求められているのです

恵那山みどりの会は
そういう人と共に
生きたいと考えています

文・書 太田光昭

2023年 9 月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
3日	日	13:30	役員会	事務所	担当・役員	
10日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
12日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
17日	日	9:30	フォローアップ講座木の伐採体験会	福岡	会員・一般	
18日	月	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
24日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
26日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
27日	水	13:30	企画会議	事務所	担当・役員	

10 イベントと森の学校の予告

	行事内容	会場	備考
29日(日)	第4回 木の伐採体験会	福岡・桧植林地	会員・一般
日			
日			
日			

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連ある
 ご意見などをお寄せください。
 関係の深い記事など通信に記載します。
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会
 理事長 河内 龍二
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
 (TEL・FAX 0573-65-1366)
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp

2023年 10月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
1日	日	13:30	役員会	事務所	担当・役員	
8日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
10日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
15日	日	13:30	やまもり通信編集会議	事務所	担当・役員	
16日	月	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
22日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
24日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
25日	水	13:30	通信発行・企画会議	事務所	担当・役員	
29日	日	9:30	第4回 木の伐採体験会	福岡	会員・一般	
		:				
		:				
		:				

11月 イベントと森の学校の予告

	行事内容	会場	備考
日			
日			
日			
日			

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連ある
 ご意見などをお寄せください。
 関係の深い記事など通信に記載します。
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会
 理事長 河内 龍二
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
 (TEL・FAX 0573-65-1366)
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp